

障害福祉

ゲンバの若者たちの

ホンネ

「ともに」寄り添うことが成長に

誰かの「ために」ではなく

人を支える
お仕事いろいろ

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2530

FAX 073-432-5567



和歌山県内の高校生に福祉の就職先において聞きたいことを障害福祉施設等で働く若者にインタビューし、動画等を掲載しています。QRコードからホームページをご覧ください。

／まずは知ることからはじめよう／



障害福祉のお仕事いろいろ



高齢者の介護をすることだけが福祉のお仕事ではありません。
福祉の仕事にも多くの種類があり、その全てが私たちに必要なものです。

01

暮らすを支える

障害のある人が少人数で生活するグループホームや、共同で生活する入所施設などで、障害のある人の暮らしを支えます。

- 共同生活援助
- 施設入所支援

02

働くを支える

障害のある人と一緒に仕事をしたり、仕事に就くための訓練などのお手伝いをしたり、仕事についての支援をします。

- 就労生活支援A型
- 就労生活支援B型
- 就労移行支援
- 就労定着支援

03

楽しみを見つける

障害のある人同士が交流し、ときにはものづくりやアート活動などをしながら、日中に通える居場所づくりをします。

- 生活介護
- 地域活動支援センター

04

子供の成長を支える

障害のある人が子供たちの居場所づくりと、保護者に寄り添って子供たちの成長のお手伝いをします。

- 児童発達支援
- 放課後等デイサービス

05

日常生活を支える

障害のある人の生活の場での困りごとを解消したり、お出かけのお手伝いをしたり、一時的な施設での生活を支えます。

- 居宅介護(ホームヘルプ)
- 移動支援(ガイドヘルプ)
- 短期入所(ショートステイ)

06

悩みごとや色々な相談をする

障害のある人の暮らしや働く中での困りごとや悩みごとの相談に対応し、各関係機関につなぎ、一緒に解決の方法を考えます。

- 相談支援

より詳しい内容は表面のQRコードからホームページをご覧ください。



障害者支援施設
(施設入所支援 + 生活介護)

生活支援員*
溝上 あゆみさん(30)

福祉のお仕事
ここが聞きたい!



障害者支援施設
(施設入所支援 + 生活介護)

生活支援員*
竹中 健さん(28)

働いてみて感じた事

働くまでは、人の役に立ちたい、何かお手伝いしたいという風に思っていたのですが、実際には私たち職員が利用者さんの身の回りのこと全てをお手伝いするのではないんです。利用者さんがご自身でできることは時間が経ってもやってもらうことが自信に繋がり、次のステップへ繋がることを知りました。それを見守りながら、サポートしていくのが私たちの役目です。

働いてみて感じた事

僕もそうでしたが、福祉=高齢=介護と思っている人は多いんじゃないでしょうか？ また3K*の悪印象が定着している現実もあります。でも実際はそれはほんの一面。福祉は「個々の幸せの追求」です。人の困りごとに寄り添い続けることは簡単ではないし、うまくいかないことの方が多いですが、利用者さんが自分らしく生きられるように社会的障壁や困難をとともに乗り越えるのが僕たちの役割だと思っています。

*3K = きつい、汚い、危険

*生活支援員 = 身の回りの支援から創作・生産活動まで、生活に密着しながら障害者の自立をサポートします。